

## 図書館の こんなこと知らなかった ⑨

大学院博士前期課程(東アジア地域専攻)1年生 李 炫淨

私は今年の4月から付属図書館の管理運営課でアルバイトをしています。仕事の内容は、

(1)購入する本を発注する本屋のデータベースに入力し発注目録を作ること

(2)発注した本を本屋さんが持ってきたときに、その本の受け入れをすることの2つが主なものです。

受け入れ作業というのは、発注した本の冊数と金額が単に一致しているかを確認するだけではなく、新しく入った本のタイトルページの裏に受入印と蔵書印を押して、さらに本の裏表紙にバーコード紙とブックポケットを貼って登録番号を入力することなど全般のことを指します。

このような作業は簡単に思えるかもしれませんが、データの入力にミスがないようにコンピュータへの入力には、一文字一文字真剣に取り組まなければなりません。そして、受入印と蔵書印を押すときやバーコード紙とブックポケットを貼るときには、必ず決められた位置に正確に貼りつけなければなりません。

私は図書館でのアルバイトを始めるまでは、図書館といえば単に本の貸し出しと返却というイメージしか持っていませんでした。このように、新しく本が購入され利用者に読まれるまでに、館内では、細かいですがその本の整理に必要な、大切な仕事が行われていることを知り、随分驚きました。

さて、みなさんは毎月どれぐらいの新しい本が図書館に入ってくるのか、ご存知ですか？様々な種類の本が毎月、何百冊も入ります。その中でもやはり、外大というだけに、入ってくる語学や異文化関係の本の数にはいつも圧倒されます。図書館本館に入ってすぐ左側に新着図書用の本棚があります。図書館に入ったらまずその本棚をチェックしてみられてはどうでしょうか？私自身経験したことで、意外に読みたかった本を見つけることができることがあります。皆さんも是非活用してみてください。